

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

<VOL. 522 2016.09 >

BULLETIN

2016年7月～2017年6月



国際会長
アジア会長
東日本区理事
関東東部部長
クラブ会長

Joan Wilson「私たちの未来は、今日から始まる」(カナダ)
Tung Ming Hsiao「ワイズ運動を尊重しよう」(台湾)
利根川恵子「明日に向かって、今日動こう」(川越)
片山 啓「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」(茨城)
浅見隆夫「親睦なくして奉仕はない」(グリーン)

会 長 浅見 隆夫
副 会 長 西澤 紘一
書 記 目黒 卓
会 計 平林 正子
監 事 柿沼 敬喜
担当主事 花井 雅男

9月 スポーツの秋

「神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。」
<スポーツ選手のように、人生の目標を目指して、ひたすら走っていきましょう。>

(フィリピの信徒への手紙3:14)

2016年9月 第一例会

日時:2016年9月21日(水) 18:30～20:30
場所:千代田区和泉橋区民館 2階
千代田区佐久間町 1-11 TEL03-3253-4931
受付:平林君/司会:西澤君

開会点鐘 浅見会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
聖句・お祈り 古 平 君
ゲスト・ビジター紹介 浅見会長
食事 ニコニコ(一言添えて)

ゲストスピーチ 紹介 浅見会長
東京多摩みなみクラブ
藤田 智 恵泉女学園大学 教授
演題 「野菜作りと人づくり」

Happy Birthday<9月 メン2名 メネット2名>
YMCA 情報 花 井 君
閉会点鐘 浅見会長

～ユース事業に思う～



今年度の関東東部ユース事業活動計画(部長:青木一芳氏)によると年1回、クラブ例会でユース事業についての話題を取り上げようとの目標が挙げられている。当クラブもこれまで学Yへの支援などユース事業に対しては深い思い入れが強かったにもかかわらず、ユースに絞った例会は少なかつた

ように思う。私は、今年も山中湖ユースボランティアリーダーズフォーラムに参加する予定である。活躍しているユースリーダー達の生の話を直接聞かせてもらおうと共に、クラブとして彼らと何らか具体的な連帯ができないかと自答してみたい。私も50数年前にフィリピンでのワークキャンプに参加したことがあったが、その後の生き方に大きな影響を受けた。フィリピンで戦争実態の片鱗に触れたことで平和を求める気持ちが人一倍強くなったように思う。

【若い時にあなたの造り主を覚えよ】との聖句があるが、まさにユース世代に経験したことが、その人のその後の人生を左右するであろうことを思うと我々が彼らに何を伝え、何を期待するかを率直に語る必要があるであろう。

ユース事業委員長 西澤 紘一

*9月、10月、ワイズイベントと川関連の行事が沢山あります。皆で楽しみながら頑張りましょう。

【例会出席率】 在籍:17名(含広義会員1名) メーキャップ 2名 出席率 15/16 93%

出席:8月例会 (グリーンメン 13名、メネット2名、ビジター2名)計17名

【ニコニコ】 8月納涼例会 0円(ニコニコなし) 累計 12,000円

<2016年8月 第一例会報告>

青木直前会長慰労・納涼例会

日時:2016年8月17日(水)18:30~21:00

場所:焼き鳥居酒屋「鳥陣」

出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・柿沼・古平・佐野
高谷・西澤・西本・布上・花井・平林・目黒
(ゲスト)西本メネット・布上メネット・林 繁一氏
加藤 学氏

東京湾に高潮発生の情報と対策に追われ急きょ不参加になった新倉メン、当日不都合の稲垣メン、メネット、ご高齢の塩入メンを除き、一寸分りづらい店に全員が早くから参集。目黒プログラム委員長の司会で浅見会長持参のミニワイズ鐘が涼やかに点鐘され、開会。

2年に亘り八面六臂の活躍で会長としてグリーンクラブを支えて頂いた青木メンに、布上ブリテン委員長力作の写真入り台紙に全員で思いを込めた額入り「寄せ書き」と大きな花束が浅見会長から盛大な拍手とともに贈呈された。

「公的には上谷喜謙・林福松両重鎮を失い、私的には主人の手術と闘病・娘の出産と大きな試練を抱える中、皆様に支えられ2年間を過ごしてきました。振り返ると大変忙しかったけれど苦しみよりも楽しい事ばかりが思い出され、会長を経験し本当に良かった。」との謝辞に続き、古平メンの心に沁み入る食前の感謝、浅見クミ子プログラム委員の発声で乾杯!

次々と運ばれる料理と飲み放題にガラリと雰囲気が変わり一気に盛り上がりました。自由発言のコーナーでは久しぶりにご夫妻で参加の西本メン「グリーンワイズ歴は30年以上、仕事に追われ例会参加時間は全部あわせても2週間、私の顔を知らない方々これからも宜しく」に大爆笑!

予約時間を大幅に超過したものの浅見クミ子メン知己のお店、最後まで笑顔の対応に参加者一同大満足、感謝してお開きとなりました。(会長 浅見隆夫 記)

<2016年8月 第二例会報告>

日時:2016年8月10日(水)18:30~20:00

場所:千代田区和泉橋区民館 4階

出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・柿沼・平林・布上
目黒

<審議・協議事項>

・もりおかクラブ10周年記念例会 不参加
・横浜とつかクラブ納涼例会

参加 浅見会長が代表として

・茨城YMVAチャリティゴルフ 不参加
・東京むかでクラブ シニアY・Y・Yキャンプ 不参加
・十勝クラブ ジャがいもファンド 購入者ナシ
・2015-2016年度東日本区会計決算・監査報告

承認はがき送付済み

・東京YMCA移転の件 再来年までの賃貸契約を3年間1F-2Fにかぎり延長する。

引き続きYMCA事業を支援する

・9月以降卓話者の件 浅見会長に一任
会長推薦の東京多摩みなみクラブ

藤田智 恵泉女学園大学教授にお願いする。

第2案、ユース事業主査青木一芳メンにお願いする。

・新CS事業の件 目黒プログラム委員提案
他クラブで開催しているお散歩会の形式で3~4ヶ月に一度を目途に神田川沿線の名所・旧跡を訪ねる。

目黒プログラム委員に一任

【神田川委員会関連の予定】

・グランチャ東雲 川下り 9月23日・24日 (柿沼・布上)

・第74回神田川船の会 10月29日(土) (全員参加)

・昌平小学校船の会

10月20日(木曜)講義 10月24日(月曜)船の会

・定年時代船の会 (精鋭ガイド 協力)

11月04日(金曜)、05日(土曜)、08日(火曜)

09日(水曜)、10日(木曜)、11日(金曜)

(会長 浅見隆夫 記)



<焼き鳥居酒屋「鳥陣」で17名出席>

<青木直前会長へ花束と寄せ書きを進呈>上段左--浅見・青木/浅見・布上・青木・加藤・平林/

右上一柿沼・目黒・佐野・布上/下段一林・古平・西澤/高谷・浅見・花井・布上/青木・西本夫妻

東京YMCA夏まつりに参加して



鎌倉クラブ・横浜とつかクラブ合同納涼例会
 2016年8月23日 18:30~21:00 加藤利榮メン宅庭園
 で約50名が参加して開催されました。珍しくも台風が3
 個接近しつつあり、青空が一転黒雲に覆われるという目ま
 ぐるしく変わる天気の中、テントが6個も張られ恒例の手料
 理が所狭しと並べられました。グリーンからは私一人の参
 加でしたが旧知の湘南・沖縄部のメンバーや近在のクラブ
 のメンに温かく迎えられ、特に理事在任中「浅見を男にする」と金沢八景クラブを立ち上げてくれた浦出会長は持病
 の糖尿病の改善のため、かなり細身になられましたが元
 気に挨拶し大変懐かしかったです。
 体調不良で急遽不参加の若木部長に代わり、先日チャク
 ーされた東京多摩みなみクラブ伊藤幾夫次期東新部長
 立会で有田征彦氏の入会式が厳かに執り行われました。



大学Yの女学生とにほん語学院の留学生がフランク焼きともろきゅう販売に奮闘してくれた



去年は南部直登メンを中心にエレキバンドで派手にやりご
 近所から苦情が寄せられたとかでアトラクションはお休
 み、長田担当主事の軽妙な司会で参加者全員が一言。
 両クラブの多岐にわたる地域社会との絆を窺わせるワイ
 ズ以外の方々を知ることができました。
 ハッピーバースデー祝いで私もプレゼントをいただき全員
 に歌で祝福されました。
 お開きまで天気も持ち、美味しい料理とデザートを満喫
 して帰路につきましたが、東京は大雨でした。
 (浅見隆夫 記)



ジャズバンドで踊るのはいつも青ちゃんだね



売れるといいね・・・



クワガタ飼育は苦勞した

YMCA主催恒例の夏まつりが、8月27日に行われまし
 た。たくさんの若い人たちがお手伝いに駆けつけ、我がク
 ラブは「フランクフルトソーセージ」を焼いてもらったり、「も
 ろきゅう」の胡瓜をカット、さらに販売にもお手伝いをしてい
 ただきました。お馴染みの提灯が飾られている会場には、
 お好み焼き・焼きそば・焼き鳥・お蕎麦・焼トウモロコシなど
 昼食にピッタリのお料理の数々。

それぞれの売り場は行列ができるほど盛況、ソーセージ
 の焼きあがるのを待っている親子の行列、お蔭様でいち
 早く完売でした。お食事している家族、友達の皆さんは満
 足、満足の雰囲気、さらに生演奏が始まると、ダンス、ダン
 スで盛り上がり楽しんでいました。
 模擬店の収益金約15000円をYMCAに寄贈致しました。
 楽しかったです。来年がもう待ちどろしいですね。
 クラブ参加:青木・浅見(ク)・佐野・柿沼(K S)・布上(S N)
 平林 (平林 記)

9月ゲストスピーカープロフィール

藤田 智 教授 恵泉女学園大学
 藤田先生は新しくできた東京多摩みなみクラブの
 チャーターメンバーです。
 NHKで趣味の園芸に出演中で活躍されておら
 れます。 恵泉大学で教鞭をとられています。
 本日の演題は「野菜作りと人づくり」です。

Happy Birthday

9月 西澤紘一(メン) 佐野弘子(メネット)
 早瀬仁人(メン) 早瀬弘美(メネット)

 クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい
 (2016-17年度 会計:平林正子)
 みずほ銀行・戸越支店(普通 2208674)
 (口座名)東京グリーンワイズメンズクラブ

<特別寄稿> フィリピンでのワークキャンプ (50数年前)の思い出

クラブ・ユース事業委員長 西澤 紘一

1963年(昭和38年)大学3年生の春に、NCC主宰のフィリピンワークキャンプ(4月10日~6月中旬まで)に参加した。当時戦争の傷跡はまだ色濃く残っており、現地のYMCAが受け入れてくれたがフィリピンでの対日感情は決して友好的なものではなかった。最初のキャンプ地は、リングヤン湾のダグーパンと言う港町であった。激戦があった場所とのことで、湾内には旧日本軍の上陸用舟艇が座礁したまま赤錆の船底をさらしていた。幸いフィリピンYMCAの仲間は、最初から私に対しては何のわだかまりも無く接してくれた。昼はスコップで畑を耕し、夜は南十字星や天の川を眺めつつ、歌を歌ったり下手な英語で歓談して過ごした。中でもアポロ・ダヤンと言う青年とYMCA活動の話を通じて親しくなった。当たり障りの無い話がだんだん戦時中のことに及び【あなたの責任ではないが】との前置きとともに日本軍が如何にフィリピンで残虐なことをしたかを話してくれることがあった。戦前からフィリピン人は、日本に対する憧れがあり最も親しい国のひとつであった。心を許し付き合った日本人は多かったと言う。にもかかわらず、ゲリラ討伐の名の下に何の罪も無い村人を銃剣で蹂躪したことは許せないという。戦争が終わり、多くの日本軍戦犯が裁かれた裁判ではフィリピン人の多くが喝采をしたと言う。彼が教えてくれたエピソードがある。キノ大統領の日本人戦犯の許しの決断である。

1941年戦争の勃発と同時にフィリピンを占領した日本軍と米軍との戦いは熾烈を極め、終戦までの間に日本兵50万人、フィリピン国民110万人の犠牲が出た。戦時末期マニラの市街戦(10万人の死者が出た)の際、キノ氏の妻子4名が日本軍によって殺された。1945年2月9日の午後のことである。爆撃でキノ家が一部破壊された時、妻のアリシアと長女ノルマ、長男トマスはキノ氏の勧めで近所の実家に避難しようとしていた。ちょうど運悪く実家の向かいにあった日本軍の防衛拠点にいた狙撃兵に



銃撃されアリシアとノルマ、トマスは即死、残った小さな妹フエは泣き叫んでるところを日本兵に刺殺された。

キノ氏が戻ったときはこの悲劇が起こった後であ

った。フエの遺体をトランクに詰めて安全な場所に避難するのが精一杯であったと言う。その後、キノ氏は1949年に大統領に選ばれた。彼の任期の終わりごろ日本兵戦犯の扱いについて辛い決断を迫られた。弟アントニオ(カトリック信徒)は【キリスト者として憎むべき相手も赦すべきだ】と戦犯日本兵の恩赦を説得したのである。

彼の怒りは激烈であったが、将来の日比関係のために多くの反対を押し切って恩赦を与えた。今日、良好な日比関係が築かれた歴史の裏にキノ大統領の涙の決断を忘れてはならない。一世を風靡した【モンテンルパの夜はふけて】の渡辺はま子の歌はこのときに生まれたのである。

YMCA コーナー

▼8月8日、江東区児童・高齢者総合施設「グランチャ東雲」が利用者累計100万人を達成した。江東区関係者も訪れる中、100万人目の利用者となられた方には花束を贈呈。当日の様子は江東ケーブルTV「ワイドスクエア」でも放映された。高齢者と親子連れの“三世代交流”も盛んなグランチャ東雲には、1日約550人、年間で20万人の地域住民に利用されている。

▼8月27日、「東京YMCA夏まつり」が開催された。海鮮焼やかき氷などの各模擬店、子どもゲームコーナーなどが出店し、例年と変わらず大賑わいであった。にほんご学院の留学生や、高等学院・libyの生徒たちも模擬店を手伝い、若い方々の活躍もあり約60万円の益金を得ることが出来た。

▼9月22日、「第30回インターナショナルチャリティーラン」を都立木場公園にて実施する。30周年となる今年は、大会アンバサダー(大使)として、バレーボール元日本代表の川合俊一さんも来場予定。30年間欠かさずに開催し、これまでのランナー数は累計11,226人、参加チームは延べ1866チーム、支援金は1億8千万円を越えており、今年も賑やかな会となることが期待されている。

▼10月8日~10日、YMCAに関わるすべての人を対象に「第19回日本YMCA大会」が東山荘にて開催される。YMCAの活動の原動力となるユースと、良き理解者/メンターであるシニアが、未来のYMCAを深く語り合い、互いに学び合うことが出来る場を目指して、世界YMCA同盟チェンジ・エージェントやアジア・太平洋YMCA同盟ユース・レプス、同盟ユース委員等のユースが中心となり現在準備を進めている。

▼今後の主な行事日程

- ・第29回ユースボランティア・リーダーズフォーラム 9月10日
(山中湖センター)
- ・国際協力街頭募金 9月9-11日
(新宿駅周辺)
- ・第30回インターナショナルチャリティーラン 9月22日
(都立木場公園)
- ・第47回全国YMCAリーダー研修会 10月8-10日
(神戸YMCA余島センター)
- ・第19回日本YMCA大会 10月8~10日
(東山荘)
- ・第33回会員ソフトボール大会 10月10日
(出版健保グランド)

(担当主事 花井 記)